

## 事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<p>①紅雲台区では高齢化と同時に世代交代及び新規参入者が増えてきている。                  ②新規参入や世代交代の若者に対する区の歴史や仕組みの継承、共有が難しい。                  ➡散在する区の資料や情報を区民全員の協力を得て、一つの記念誌にまとめる作業を通して誰でも容易に区の状況や姿がわかり情報を共有できる記念誌を作成する。                  その過程で区の活性化や区民同士の交流の場を提供する。</p>
<p>対象となる人・範囲</p>	<p>紅雲台区全世帯(約300世帯)、全区民(約800人)</p>
<p>事業の効果、達成目標                  (達成目標はできる限り数値で示すこと)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p>	<p>区民延べ800名以上の参加を目標にする。より多くの区民がこの事業に参加することで、下記の効果を期待する。                  ①記念誌作成の取り組みによる世代間の相互理解及び区に対する理解と愛着を醸成し、若い世代の区事業及び行事への積極的参画を図り、区の活性化と高齢者対策を推進する。                  ②移住等の新規参入者(予定者へのPRも含め)に対し、記念誌により区に対する理解を深め、地域に容易に溶け込み、自由に意見が言え、それを採用反映できる環境づくりをする。                  ③周辺他地区の関係者に記念誌を贈呈し、紅雲台区への理解を深めていく。又、今後同様な取り組みを行う地域の模範となる。</p>
<p>詳細</p> <p>(活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進</p>	<p>区民全員の参加協力を得て、その作成プロセスも大切に記念誌を作成する。その為に以下の事項を実施する。                  ①区民全員を対象に区への思いの寄稿文「私と紅雲台」、区の歴史写真「写真で見る区の姿」を募集する。(先行募集により記念誌発行の機運を高める)                  ②「推進委員会便り」を毎月発行回覧して、進捗状況の周知と協力を得る。                  ③毎月の班長会議で記念誌に関する報告をして区民の意見を反映する。                  ④小学生から高齢者まで幅広い層に参画協力を得る。                  ・小学生全員から「私の願い～夢・願い～」の募集をして記念誌に載せる。                  ・幅広い世代から「私と紅雲台」の原稿募集し80名以上の文章を掲載する。                  ・「写真でみる区の姿」に区民から提供の300枚以上の歴史写真を掲載する。                  ⑤ドローンによる集合写真撮影：一斉清掃、桜の季節、参加延べ人数500名。このような取り組みを通して区民の一体感を共有する。                  ⑥記念誌の内容は「区の歴史概観」「写真でみる区の姿」「私と紅雲台」「区の出来事Q&amp;A」「区の主な出来事年表」「役員&amp;戸数&amp;人口数&amp;区費一覧表」「区防災図」「区則・例規集」等発行後も継続的に参照利用できる内容とする。                  ⑦「記念誌50年のあゆみ」を全世帯及び関係者に配布する。                  記念誌印刷部数400冊(内訳：区民配布300冊、関係者及び関係機関へ寄贈20冊、貯蔵80冊)</p>
<p>重点テーマに該当する理由</p>	
<p>翌年度以降の取組</p>	<p>①記念誌作成の取り組みで得られた区民の交流を活かして、いきいきサロン、高齢者&amp;子供サロン「おいでなんし」のスタッフ、防災・避難支援組織の充実等若い世代の協力を得て、高齢者対策及び防災組織の充実を図る。                  ②記念誌に掲載された子供達の「私の願い～夢・願い～」その他区民からの要望、課題について区政に反映して可能なものから実現していく。</p>

# も く じ (案)

## ○<扉写真等>

- ・見開き ドローン写真
- ・区の宝額 ・変遷する紅雲台区（空から見た区） ・区民の姿様々 ・紅雲台音頭の楽譜

## <もくじ>

### 「50年を祝う」

- 挨拶 区長、推進委員会会長、編集委員長
- 祝辞 佐久市長、東地区区長会長、平根地区区長会長

### 「歴史概観」

- 紅雲台区50年の歴史概観、
- 草創・開拓期・・・(1973 (S48)年～(1987 (S62)年
- 成長・充実期・・・(1988 (S63)年～(2002 (H14)年
- 変容・変革期・・・(2003 (S15)年～(2022 (R04)年

### 「50周年に寄せて」

～写真で見る区の姿～

- 紅雲台 誕生!!～
- 念願の公会場建設～
- 活躍するスポーツ部
- 仲間と共に (サークル活動)
- 発見・感動「文化祭」
- 力合わせて「運動会」
- 踊ろう、語ろう「納涼盆踊り大会」
- 今も青春「敬老会」
- 毎月愉しみ「いきいきサロン」
- 安全・安心な区の姿
- 汗を流す区民
- 微笑ましい姿
- 高齢者に配慮
- 公会場前庭の変化
- 浄化槽地の変化
- 新クリーンセンター誘致・建設
- 課題の排水路整備
- 思わぬ出来事
- 50年間の大きな社会変化
- 区民の年代別人口推移
- 50周年記念事業いろいろ

## ～「私と紅雲台」～

- 今昔の心 ～人は歴史を背負って生きている～
- 安心・安住の地 ～心地よく、住んで創るふるさと～
- 成長。仲間 ～人と共に活動する汗と感動～
- 悲喜こもごも ～艱難辛苦、すべてが宝～
- 感謝と誇り ～ありがとう、お陰様の心で～
- ふるさと紅雲台 ～住んでよかった、我がふるさと～
- 私の願い ～夢・願い～

## 「区の出来事 Q & A」

- Q 1 : 紅雲台団地建設出発時の状況
- Q 2 : 区創設時の願いや苦心
- Q 3 : 「紅雲台」という区名
- Q 4 : 区旗のいわれ
- Q 5 : S 5 9 年の大草問題
- Q 6 : 公園の桜は記念樹
- Q 7 : 自衛消防隊組織
- Q 8 : 「区を考える会」の動き
- Q 9 : 区公会場建設の様子
- Q 10 : 区の行事にはどんなものが
- Q 11 : 区民文化祭の歴史
- Q 12 : 区スポーツ活動の歴史
- Q 13 : 区民運動会の様子
- Q 14 : 区敬老会の変遷
- Q 15 : 紅雲台の和太鼓の由来
- Q 16 : 紅雲台音頭の背景
- Q 17 : 区公会場の駐車場づくり
- Q 18 : 「浄化槽特別基金」の目的
- Q 19 : いきいきサロンの歴史
- Q 20 : 新クリーンセンターと紅雲台区
- Q 21 : 「区の連絡放送」の工夫
- Q 22 : 区報「こううんだ～い！」の意味

## 資料編

- (1) 紅雲台区の主なできごと年表
- (2) 歴代役員&戸数&人口数&区費一覧表
- (3) 文化・スポーツクラブの姿
- (4) いきいきサロンの姿
- (5) 区功労者一覧(感謝状贈呈者)
- (6) 浄化槽の取組
- (7) その他(区防災図等)
- (8) 区則・例規集

## 編集後記



## 【50周年記念事業の動き います！】

50周年記念誌の目玉頁「写真で見る区の姿」に掲載する写真募集案内です。

# 写真募集

（記念誌掲載用）



裏面に記載の「掲載したい歴史写真」を参考に、下記の要領でお手元にある写真をお貸しください。もし、この写真ならこの方がお持ちでは・・・と、お心当たりがありましたら、その方に声掛けしていただければ幸いです。連休・夏休み等で帰省する子どもさんや元区民の皆さんにも働きかけをお願いします。

### <応募要領>

#### 1 写真の内容

◎裏面に記載の内容を主としますが、下記の5項目の写真もありがたいです。

- (1) 区の行事や活動に関わる写真
- (2) 区の代表として活躍した写真
- (3) 区の自然風景、区の周辺風景などの写真
- (4) その他（区の歴史の一コマ）



#### 2 写真の種類や大きさ

- (1) カラー、白黒、セピア色など、どれでも大丈夫です。
- (2) 大きさも問いません。

#### 3 写真の扱い方

- (1) お預かりした写真は編集後お返しします。
- (2) 掲載できなかった場合は、状況を説明し返却します。
- (3) 人様のプライバシーにかかわるものは、十分ご配慮ください。

#### 4 応募方法

- (1) 写真それぞれに、班名と氏名を記入し、封筒（記名を）に入れて班長に。
- (2) 応募点数が多い場合は同じ封筒に入れて構いません。（点数を明示する）
- (3) できるだけ短いコメントや撮影年代を付けていただければ幸いです。

#### 5 応募期間と提出先

- (1) 令和3年7月12日（月）～9月12日（日）
- (2) 各班の班長に提出（返却も班長を通して行います）※班長は区長へ。

※質問等がありましたら、推進委員・区役員・班長等に、お気軽にお聞きください。

## 【写真で見る区の歴史】に掲載したい歴史写真

ご協力いただきたい写真は、下記のとおりです。お探しいただきお貸してください。

- 1 区発足時・・・①造成前後の風景 ②第一回総会 ③当時の通学風景 等
  
- 2 区の施設等・・・①プレハブ公会場 ②自衛消防団風景（制服姿、出初式）  
③農協紅雲台支所での活動 ④現公会場の思い出施設  
⑤公園にあったバスケットボード ⑥浄化槽（建物、掃除、解体等） ⑦公園遊具で遊ぶ風景（古い時代、新しい時代、特にお孫さんとゆったりする姿）  
等
  
- 3 区行事様々・・・①昭和50年代の文化祭・運動会・敬老会・盆踊り大会  
②平成時代の特色ある文化祭・運動会・敬老会・盆踊り大会等  
③15周年行事・20周年行事。30周年行事 ④公園植樹作業 等
  
- 4 サークル活動姿・・・①少年野球 ②ミニバス ③ママさんバレーボール  
④壮年野球 ⑤各種サークル活動の思い出様子 等
  
- 5 その他・・・①ごみステーション立ち合い活動 ②区民の奉仕活動  
③高速道路の歩行記念 ④あの大雪山風景 ⑤コロナ感染予防のマスク姿  
⑥区民の日常風景（散歩、子ども見守り、孫と公園で、子どもの遊び） 等

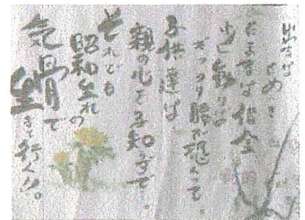


## 【50周年記念事業の動き いま！】

こちらも目玉頁。50周年記念誌の「私と紅雲台」の作品募集案内です。

# 「私と紅雲台」の作品 募集！

裏面の作品例を参考に、紅雲台区への思いや願い、サークル活動の思い出、思い浮かぶ区の出来事、区役員体験、団地生活の今昔等、区の様々な側面が伝わる作品を掲載し、「区民の心」が共有できる楽しい頁にしたいと思います。お気軽に寄稿を！  
小学生には、紅雲台区への夢や希望・願いを「寄せ書き」にして掲載する予定です。募集要領は下記の通りです。奮って勧め合い応募ください。



### <募集要領>

#### 1 作品内容や字数

- (1) 作文形式、お手紙風、詩や俳句、絵手紙など、自由です。
- (2) 写真を添付されても結構です。
- (3) 字数は、500文字以内。（基本は横書き）※手書き、パソコン文字

#### 2 作品の扱い方

- (1) お預かりした作品や写真は編集後お返しします。
- (2) 応募作品は原則そのまま掲載。修正等お願いする場合があります。
- (3) 人様のプライバシーにかかわることには、十分ご配慮ください。

#### 3 応募方法・対象者

- (1) 応募の際は、作品と添付写真（1枚、希望の場合のみ）を封筒に入れ、班名と氏名を記入ください。
- (2) 近年区に入居の方や現在区に住んでいないご家族の応募もできます。  
また、以前紅雲台区に住んでいたお仲間の作品も結構です。

#### 4 応募期間と提出先

- (1) 令和3年7月12日（月）～9月12日（日）
- (2) 各班の班長に提出（返却も班長を通して行います）  
班長は、区長にお渡しください。



※1つの班から、2点以上の応募をお願いします！

平根小学校  
紅雲台支部児童の皆さんへ

2021年11月2日  
紅雲台区長 渡辺秀行  
平根小学校 PTA  
紅雲台支部長 塩川昭子

しゅうねんきねんし しょうがくせい よせがき かん せつめいかい あんない  
50周年記念誌「小学生の寄書」に関する説明会のご案内

ひらねしょうがっこうこうこうんだい し ぶ じどう みな まいにちげんき おち  
平根小学校紅雲台支部児童の皆さんには、毎日元気におすごしのことと思  
います。

しゅうねんきねんし みな よせがき  
50周年記念誌に皆さんに寄書を書いていただくことになりました。

つぎ せつめいかい おこな  
次のように説明会を行いますので、おあつまりください。

き  
記

1. 日時：2021年11月14日(日) 9:30～(20分程度)
2. 場所：紅雲台こうかいじょう
3. 内容：「よせがき」のかきかたのせつめい
4. 持ち物：えんぴつ、メモ用紙、マスク
5. 注意じこう：しずかにせきすわり、お友だちとさわがない。(かんせんぼうし)

保護者様へ

コロナ対策として、

- ①入室時の検温、手の消毒
- ②座席の距離確保
- ③マスクの着用
- ④部屋の換気

の対策を取りますのでお子様の御参加へのご配慮をお願いします。

又、説明資料（提出用の用紙付き）をお子様へ渡しますので、お子様へ書き方の御指導をお願い申し上げます。

以上

平根小紅雲台支部の児童の皆さんへ

◎「こんな紅雲台にしたいなあ」

◎「こんな紅雲台だったらいいなあ」

こんな夢や希望を、書いてください。

☆提出は、11月21日(日)までに

支部長 塩川昭子さんに渡す。

☆約束事

①工夫すればできそうな楽しいことを書く。

②自分の思ったこと考えたことを書く。

③決められたマスの中に入るように書く。

④マスを全部うめなくてもいいです。

⑤書く文が終わった次の段に「学年と氏名」

を書く(漢字で)。

★この下の段(マス)から、文章は3段以内

に書き、最後に、学年と名前を。

◎ここに書く。

この用紙そのまま出してください。